

2月号

吾孺二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孺第二中学校

令和8年2月9日

しっとりと歩みを重ねる吾二中学生

校長 佐藤 順一

厳しい寒さの続く2月ですが、生徒たちはそれぞれの学年で大きく成長しています。今回は、その姿の一端をお伝えするとともに、年度末に向けた思いを記したいと思います。

まず、3年生は受験期の山場を迎えています。都立一般入試が目前に迫り、緊張や不安を抱えながらも、自分の力と向き合い、懸命に努力を続けています。この1年間、授業への集中や家庭学習の積み重ね、仲間と励まし合ってきた日々は、確かな自信につながるはずです。また、すでに合格した生徒たちが、これから受験に向かう仲間を気遣い、最後まで応援しながら生活している姿も立派で、3年生全体の温かさと成熟を感じます。2年生は、スキー移動教室で大きな成長を示しました。「仲間を大切にする」「自分でできることは自分でやる」「役割を果たす」という目標を意識し、集団生活の中で実践する姿が多く見られました。天候による予定変更にも落ち着いて対応し、協力して過ごす姿は大変立派でした。この経験は来年度、最上級生として学校を支える力となることでしょう。1年生も、この1年間で着実な変化を見せています。特に日頃のあいさつが明るく丁寧になり、学校全体の雰囲気をもよおさせてくれています。都内巡りでは、限られた時間の中で仲間と協力し、課題に取り組む姿が見られ、「つながる力」を実践するよい機会となりました。また、5組では合同送別会で、3年生一人ひとりがステージに立ち、これまでの思い出や卒業に向けた将来の希望を堂々と語ってくれました。先輩の立派な姿に下級生も真剣に耳を傾け、5組全体の温かいつながりが感じられる時間となりました。どの生徒からも、大人へと歩みを進める確かな成長が見え、心温まる場となりました。

こうして1年生、2年生、3年生、そして5組の成長を見ていると、吾孺二中全体に「しっとり」した温かい雰囲気が育ってきていると感じます。気持ちの良いあいさつ、時間を守る姿勢、仲間との絆を深めながら思いやりの心を育てること、そして自分の夢を語れること。こうした日々の積み重ねが、学校に落ち着きと温かさをもたらしています。この「しっとり」とした雰囲気は、今の吾孺二中の大きな魅力であり誇りです。年度末は、この一年間の成長を振り返る大切な時期です。うまくいったことも、そうでなかったことも、次への一歩につながる大切な経験です。自分の変化を見つめ、次の学年への準備をしていってほしいと思います。今後も、生徒一人ひとりが安心して学び、成長できる学校づくりを進めてまいります。

(2/9朝礼より) [この話に関する4つの力：つながる力、見つめる力、乗り越える力、見通す力]